

令和 2年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	山岸和幸
	全体計画			経費区分	経常的経費	内線	3326
事務事業名	4089 高齢者在宅福祉事業						
所 属	100300 健康福祉部・高齢者福祉課						
施 策	01020400 高齢者福祉の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	030103 民生費・社会福祉費・高齢者対策費					
	事業	030000 高齢者在宅福祉事業					
事業目的				事業概要・効果			
ひとり暮らし・寝たきり・認知症高齢者に対して、在宅での生活支援と介護世帯の経済的負担の軽減を図る。				高齢者が在宅で安心して暮らせるように、住宅改良やひとり暮らし安心コール（ひとり暮らしの高齢者に対し、1週間に1回、定期的に社会福祉協議会から電話をして、コミュニケーションを図るとともに安否確認を行う）など自立した生活を維持するために必要な支援を行う。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし安心コール事業や高齢者にやさしい住宅改良促進事業等を実施し、在宅で安心して生活できるように在宅福祉の充実を図った。 ・理容・美容利用券給付等の在宅福祉券給付事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし安心コール事業や高齢者にやさしい住宅改良促進事業等を実施し、在宅で安心して生活できるように在宅福祉の充実を図った。 ・理容・美容利用券給付等の在宅福祉券給付事業を実施した。
平成29年度 実績	平成30年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし安心コール事業を実施した。 ・高齢者にやさしい住宅改良促進事業等を実施した。 ・理容・美容利用券給付等の在宅福祉券給付事業を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし安心コール事業を実施した。 ・高齢者にやさしい住宅改良促進事業等の実施。 ・理容・美容利用券給付等の在宅福祉券給付事業の実施した。
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし安心コール事業の実施。 ・高齢者にやさしい住宅改良促進事業等の実施。 ・理容・美容利用券給付等の在宅福祉券給付事業の実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし安心コール事業の実施。 ・高齢者にやさしい住宅改良促進事業等の実施。 ・理容・美容利用券給付等の在宅福祉券給付事業の実施する。

指標名 高齢者住宅改良促進事業年間助成件数						
算式						単位 件
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標					3
	実績	1	1	3	1	
指標選定の理由	高齢者の在宅生活を支援する事業である「須崎市高齢者いきいきプラン」(平成27年度～平成29年度)で高齢者福祉施策の指標として目標値を設定したが、平成30年度以降については現状にあわせて目標値を設定した。					
最終年度						
目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度						
目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度						
目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		26,353	30,651
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	209	858
	地方債	0	0
	その他	0	15,000
一般財源		26,144	14,793
人員数 (人)	正規職員	0.4	0.4
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	2,906.0	2,906.0
	嘱託職員	282.9	282.9
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,188.9	3,188.9
市民一人当たりの経費		0.6	0.6
総額		29,541.9	33,839.9

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	21,408	在宅福祉介護者慰労金21,408
11節 需用費	29	消耗品費29
13節 委託費	1,642	助け合い推進事業関連事業委託料1,130、ひとり暮らし安心コール事業委託料等512
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	324	宅老所緊急宿泊支援事業補助金44、高齢者にやさしい住宅改良促進補助金86、介護保険社福軽減補助金等194
その他	2,950	扶助費2,905 等

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	22,500	在宅福祉介護者慰労金22,500
10節 需用費	40	消耗品費40
12節 委託費	2,195	助け合い推進事業関連事業委託料1,603、ひとり暮らし安心コール事業委託料592
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,599	宅老所緊急宿泊支援事業補助金100、高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金等1,260、介護保険社会福祉法人軽減事業補助金等239
その他	4,317	扶助費4,257 等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らし高齢者等が在宅で安心して生活を送れるよう必要な支援を行う事業を実施している。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 在宅福祉介護者慰労金の給付、ひとり暮らし安心コール、理容・美容給付券給付事業等を行い、ひとり暮らし高齢者等が在宅で安心して生活できるよう支援をした。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 住宅改良事業について県補助金を活用している。 在宅福祉介護者慰労金については、今後、対象期間等の見直しについて検討する。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）

<ul style="list-style-type: none"> 在宅福祉介護者慰労金については、国・県の指針により特別会計（地域支援事業交付金）から一般会計に支出会計を移動した。今後、一般会計からの支出により一般財源の負担増となるため、在宅期間等の見直しについて検討する。 理容・美容給付券給付事業等についても対象者の見直しについて検討する。
--

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）	次年度以降の方向性	簡易な改善（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>在宅福祉介護者慰労金については、介護保険地域支援事業の対象外となり、一般会計により継続しているが、支給対象等の見直しは必要と思われれます。</p>		<p>これまで在宅介護に対して、対象を大きくとらえて取組んできたが、特別会計から一般会計に費用負担が変更となり、支援の在り方と在宅介護を推進する市の姿勢を確認する必要があり、現在対象者を再検討する必要がある</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	